

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（6月分）

留学先大学：ナポリ東洋大学

Ciao！今月は、初旬にエグザムが終わり、国際地域学部の友達が続々ナポリに遊びに来てくれたり、イタリアのローマとポンペイ、シチリア島、アマルフィに行ってきました！そして今は、イタリアを巡っています！

ナポリとは違う雰囲気が味わえたり、地方料理を食べたりして楽しかったです！



今月は、イタリアのエグザムについて書いていこうと思います！

イタリアでは、筆記の試験と口頭試験があるのが一般的だそうです。口頭試験は日本にはほぼないので、とても緊張しました。

<アメリカ文学>

私が受けたアメリカ文学は、中間試験がなく、期末試験だけでした。筆記試験は、3つの質問に対して、3時間の回答時間が設けられていました。3時間の中で、ひたすら自分の意見を混ぜながら文章を書きました。筆記試験の方は、日本と違う点はなかったです！

そして、その2日後に、口頭試験を受けました。私は一人ずつ部屋に呼び出されて先生と二人きりでするものだと思っていましたが、その日アメリカ文学の試験を受ける人全員の前で試験をしました。最初に、筆記のテストが先生のコメントとともに返されました。私へのコメントは、「彼女の国では、アルファベットを使ってないのに、彼女が一番綺麗な文字を書いているよ！みんなの文字読みにくいよ！」でした。(笑) まさかみんなの前で、字をほめられるとは思いませんでした。そのあと、口頭試験を受けたのですが、他の生徒は全員院生だったため、私とは少し違う問題が出るらしく、私が一番に受けました。私の場合、その場で、今まで読んだ作品の中で好きなものを選

び、先生がここを読み上げて、どういう意味なのか説明して、と言われました。答えた後に、すぐ先生に点数を知らされます。ここもびっくりしました（笑）、みんなに結果がバレバレです。そして、イタリアでは30点満点で評価するそうです！

<イタリア語>

イタリア語のコースは中間と期末の2回テストがありました。中間では、筆記試験だけでしたが、期末では、口頭試験もありました。先生はテスト範囲もこういうのが出るよというのもイタリア語で説明するので、出題範囲がわからなくて大変でした（笑）。イタリア語の方も筆記は、日本と同じような感じでしたが、一つだけ違うところがありました！テストをシャーペンで受けていたら、ボールペンで、書き直して！と言われてしまいました。おそらく、不正をなくすためだと思います。また、口頭試験は、地図を見て道案内をしたり、自己紹介をしたりしました。練習をかなりして行ったのですが、やっぱりテストを受けると頭が真っ白になってしまいますよね（笑）

結果的には二つとも試験に合格したので、晴れて6月中旬から夏休みです！学期が7月31日までと聞いていたので、飛行機を7月末にとってしまっていて、まるまる1ヶ月自由に、イタリアを楽しめるので、楽しもうと思います！ちなみに飛行機は変更できますが、日本の夏休み期間と重なってしまい変更に5万円以上かかるらしいので、飛行機の予約を取るときは、しっかり留学先大学に年間スケジュールを確認した方がいいと思いました（笑）